

H141 服飾心理学	
英名科目名	
大学名	京都ノートルダム女子大学
連絡先	京都ノートルダム女子大学 教育支援部教務課 TEL：075-706-3745 FAX：075-706-3790
担当教員	牛田 好美(現代人間学部福祉生活デザイン学科教授)
開講期間	2021年09月30日(木)～2022年01月20日(木) 2講時 10時45分～12時15分(木曜日) 休講2021/11/18(木)、2021/12/30(木)
開講形態	後期・秋学期 開講曜日・講時 木曜日 2講時
単位数	2 履修年次 2年次以上
会場	科目開設校キャンパス
授業定員	
単位互換生定員	京カレッジ生定員
試験・評価方法	授業参加度(30%)、試験(30%)、レポートおよび発表(40%)で総合的に評価する。
超過時の選考方法	書類審査
受講料	科目等履修40,000円(本学卒業生は20,000円)、 聴講20,000円(本学卒業生は10,000円)
別途負担費用	
その他特記事項	現時点では対面授業の予定ですが、急遽オンライン授業に切り替わる可能性があります。インターネット環境をご準備の上、お申し込みください。  <通学に関する注意事項> 本学への通学は公共交通機関をご利用ください。 50ccを超えるバイクおよび自家用車での通学は認められておりません。また、自転車および50cc以下のバイクでの通学は登録制となっております。
パッケージ科目	
低回生受講推奨科目	
講義概要・到達目標	
<p>1. 科目の教育目標</p> <p>被服の社会・心理的機能には3つあるとされる。第1は「自己の確認・強化・変容」機能、第2は「情報伝達機能」、第3は「社会的相互作用の促進・抑制」機能である。それらの機能を理解し、日常生活をよりよく営める能力を養う。</p> <p>2. 教育・学習の個別課題</p> <p>次の3つの社会・心理的機能に着目し、被服に関する人間の行動を解明する。</p> <p>自己の確認・強化・変容機能 情報伝達機能 社会的相互作用の促進・抑制機能</p> <p>3. 教育・学習の方法</p> <p>主に、講義形式で行うが、DVD視聴、グループディスカッション、個人発表などを取り入れながら授業を進める。</p> <p>4. 準備学習の具体的な方法</p> <p>ほぼ、毎回の授業で小課題をだすので、普段から新聞や雑誌などを読み、社会情勢に敏感になっておくこと。</p>	
講義スケジュール	
<p>第01回 授業の進め方の説明、被服や身体装飾への社会心理学アプローチについて</p> <p>第02回 被服と自己意識(1) ボディイメージとは</p> <p>第03回 被服と自己意識(2) 社会で形成されるボディイメージ</p> <p>第04回 被服と対人認知(1) 印象管理</p> <p>第05回 被服と対人認知(2) 自己管理、自己呈示、役割理論</p> <p>第06回 被服と非言語コミュニケーション 被服が伝えるもの</p> <p>第07回 被服と対人行動 被服が他者に与える影響</p> <p>第08回 被服と集合行動 制服について考える</p> <p>第09回 被服とジェンダー ジェンダーと被服行動</p> <p>第10回 流行の普及と採用 流行の普及と採用</p> <p>第11回 グループディスカッション</p>	

興味のあるテーマについて、話し合う	
第12回 個人発表(1) テーマを設定し、プレゼンテーション	
第13回 個人発表(1) テーマを設定し、プレゼンテーション	
第14回 課題、授業内試験 授業の質疑応答および試験、レポート提出	
第15回 まとめ レポート課題、試験返却及び開設	
教科書	
参考書	『21世紀の社会心理学シリーズ8 被服構想の社会心理学』/高木修(監修)/北大路書房/1999/4-7628-2161-6 『被服と化粧の社会心理学』/高木修(監修)/北大路書房/1996/4-7628-2058-X